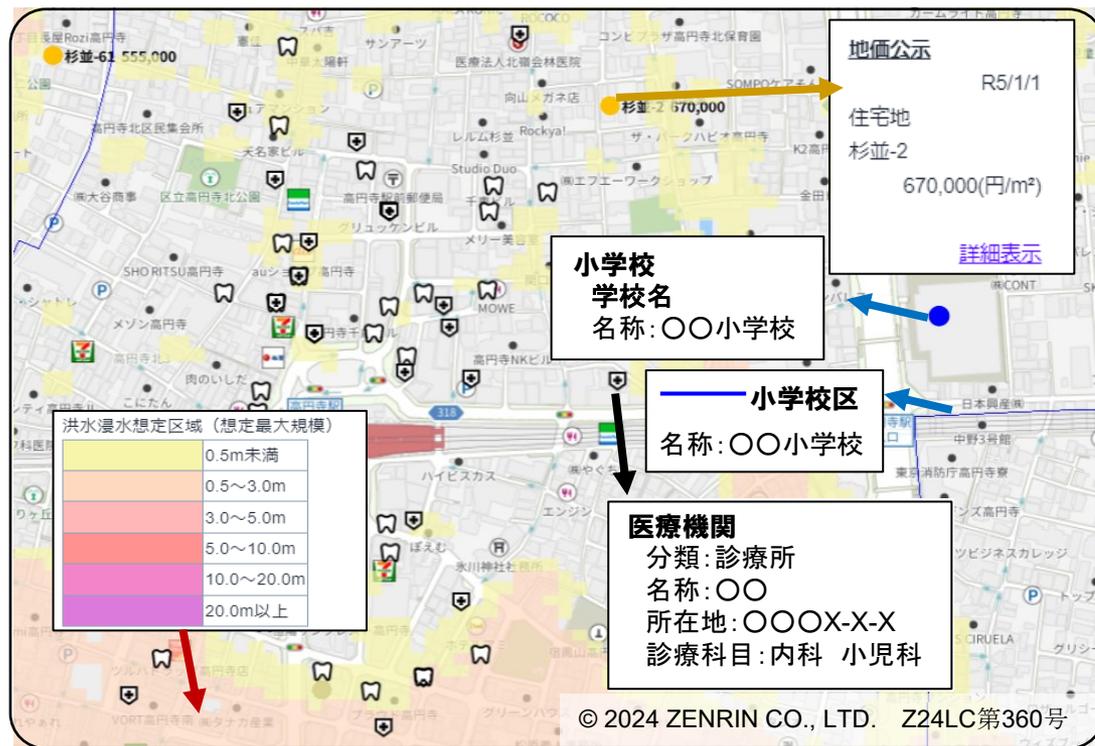


# 不動産情報ライブラリ 概要

- ・円滑な不動産取引を促進する観点から、不動産に関するオープンデータを利用者のニーズに応じて地図上に表示する「不動産情報ライブラリ」を本年4月1日に公開。
- ・利用にあたって特別なソフトを必要としないWebGISを採用し、スマートフォンでも閲覧可能。
- ・表示するデータについては、民間事業者等とのシステム連携（※）を可能としており、新たなサービスの基盤となることを期待。

※API (Application Programming Interface) 連携

## 【不動産情報ライブラリ：画面イメージ】



## ライブラリの特徴

不動産取引に必要な複数のテーマを同じ地図上に重ね合わせることが可能。

オープンデータが様々なサイト・データ形式で公開されており、これらを重ね合わせて、同時に表示し、位置関係を把握できるシステムがない

価格情報のデータ



防災情報のデータ

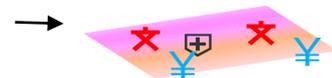


周辺情報のデータ



ライブラリによって、複数のテーマの情報を重ね合わせて「見える化」することができる。

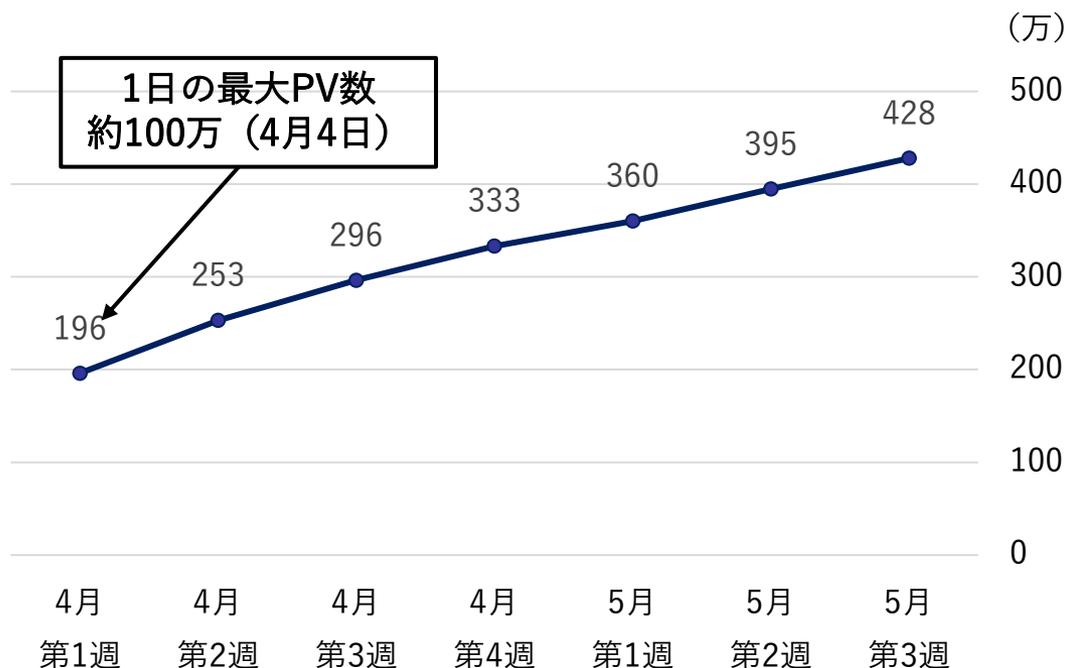
例) 地価公示・地価調査、洪水浸水想定区域、周辺施設のデータを重ね合わせ



## 不動産情報ライブラリ 利用状況 (5月19日17:00時点)

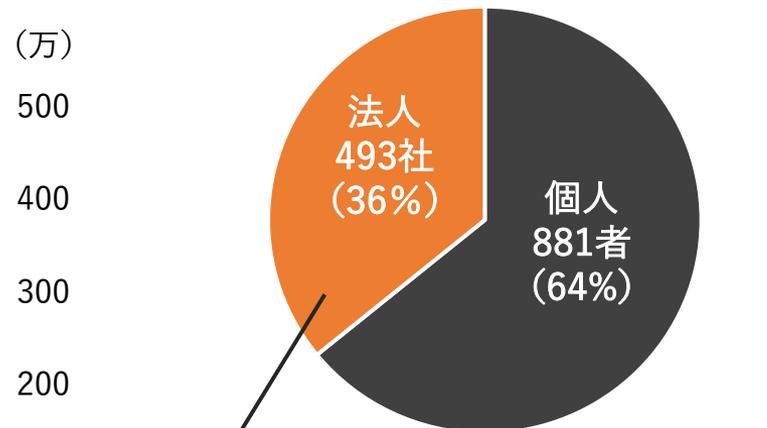
- ・運用開始から7週間経過後の累計ページビュー数は420万以上であり、その約4割がスマートフォンによる閲覧
- ・システム連携サービスの利用者も1300者を超え、不動産業以外の業態も多く利用

## 累計ページビュー数 (4/1~5/19)



5月19日 (17時時点) の累計PV 4,279,968回  
 ※うち、スマートフォンでの閲覧：39%、PCでの閲覧61%

## API利用申請者件数 (1374者)

不動産関係業種

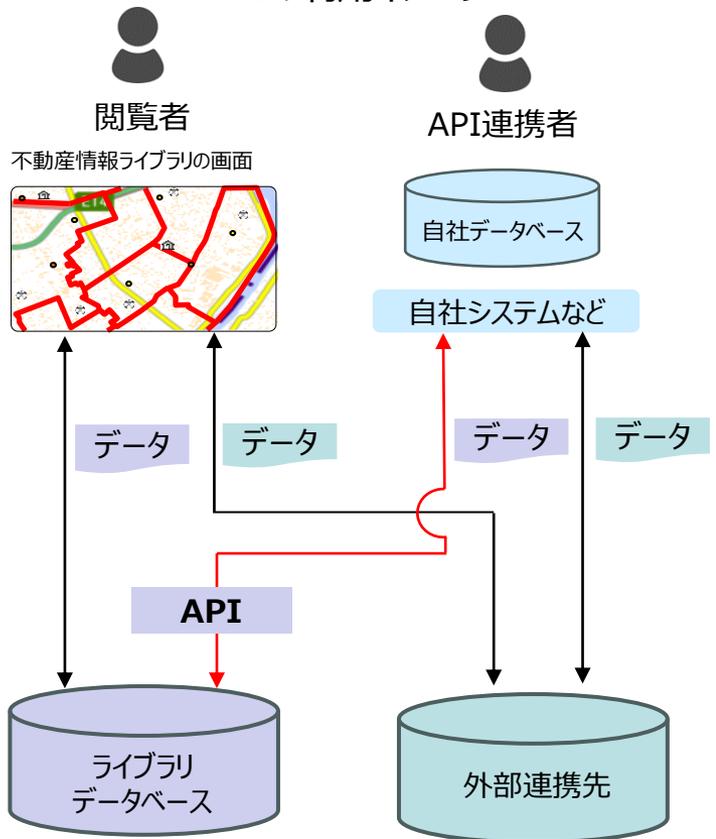
：デベロッパー、ハウスメーカー、  
 不動産テック、不動産鑑定、  
 物件ポータルサイト など

不動産以外の業種

：保険、通信、マスコミ、運輸、  
 など

- 不動産情報ライブラリでは、掲載情報の一部（国土数値情報や都市計画関係の情報）をAPIで提供する仕組みとしており、システム稼働後、多くの利用がみられる

### APIの利用イメージ



小学校区、学校、価格情報、都市計画など**26項目**

洪水浸水想定区域、土砂災害警戒区域、陰影起伏図など

### 累計APIリクエスト数

#	項目	リクエスト数	#	項目	リクエスト数
1	用途地域 ※1	2,836,154	14	防火・準防火地域 ※2	33,074
2	学校	1,261,403	15	中学校区	18,196
3	都道府県内市区町村コード・名称取得	772,719	16	地すべり防止地区	10,612
4	地価公示・地価調査 ※1	386,353	17	都市計画区域/区域区分 ※1	10,542
5	医療機関	284,791	18	大規模盛土造成地マップ ※2	9,972
6	福祉施設	242,738	19	立地適正化計画区域 ※1	5,293
7	小学校区	217,128	20	将来推計人口500mメッシュ	4,565
8	自然公園地域	200,379	21	鑑定評価書情報	4,378
9	図書館	164,855	22	災害危険区域	3,961
10	保育園・幼稚園等	101,421	23	駅別乗降客数	3,845
11	市区町村役場及び集会施設等	88,624	24	地区計画 ※2	2,072
12	不動産取引価格・成約価格(位置情報あり)	73,753	25	急傾斜地崩壊危険区域	1,419
13	不動産取引価格・成約価格(位置情報なし)	49,133	26	高度利用地区 ※2	1,169

※集計時点2024年4月1日～5月19日

     国土数値情報

※1 国土数値情報ダウンロードサイトではなく、提供元のデータベースから情報が提供されているもの

※2 近日中に国土数値情報として整備予定（2024年6月）